

玉川クリニック



公益財団法人 日産厚生会
玉川クリニック
【水曜定休】

【診療のご案内】
診療時間
午前 10:00~12:30
午後 14:00~17:00

診療科目
内科/眼科/はり・灸

午前	消化器科	皮膚科	泌尿器科	小児科	産婦人科
午後	呼吸器科	皮膚科	泌尿器科	小児科	産婦人科
夜間	救急科	皮膚科	泌尿器科	小児科	産婦人科

乳腺外来
土・午後(予約制)

漢方外来
金/午前

禁煙外来
金/予約制

皮膚科
火・木・日/午後(14:00~16:30)

取扱い健康診断
人間ドック—般健康診断
薬入れ時健康診断
世田谷区健康診断
乳がん検診 他

関連病院
公益財団法人 日産厚生会 玉川病院

玉川クリニック

玉川クリニック

玉川クリニック
NISSAN TAMAGAWA CLINIC
TEL. 03-5708-5871

診療科	内科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	消化器科	呼吸器科	漢方科	禁煙科	乳腺科	救急科
時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

I 概要

所在地 〒158-0094
東京都世田谷区玉川3-15-17
玉川高島屋S.C西館
TEL 03-3709-3281

開設年 昭和44年
所長 長 晃平
標榜科目 内科、眼科、皮膚科、
人間ドック・各種健康診断

●各種認定医制度に基づく認定項目

2024年3月常勤医

氏名	認定機関	認定資格
長 晃平	日本内科学会	総合内科専門医／指導医
	日本呼吸器学会	専門医／指導医
	日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医／気管支鏡指導医
	日本病院会	病院総合医
	日本医師会	認定産業医
	各都道府県	身体障害者福祉法指定医(呼吸器機能障害の診断) 難病指定医
小澤志朗	日本内科学会	総合内科専門医／指導医
	日本呼吸器学会	専門医／指導医
	日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医／気管支鏡指導医
	日本医師会	認定産業医
	各都道府県	身体障害者福祉法指定医(呼吸器機能障害の診断)
川口笛美	日本眼科学会	専門医

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

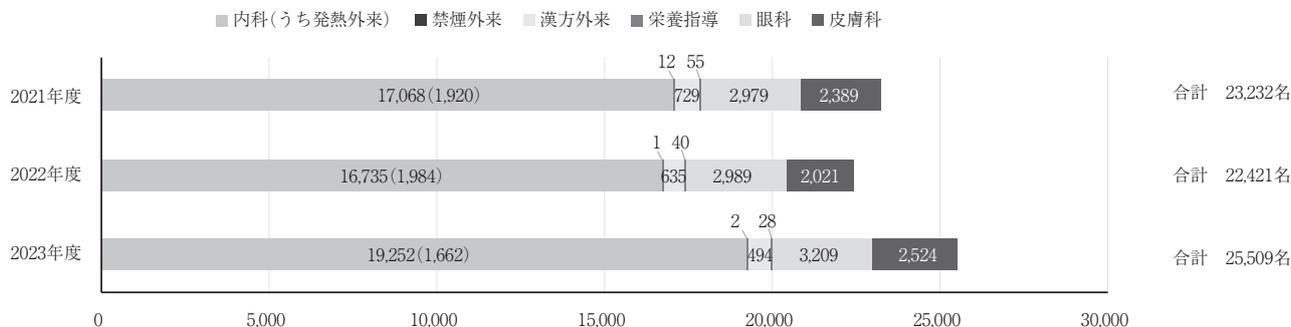
佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

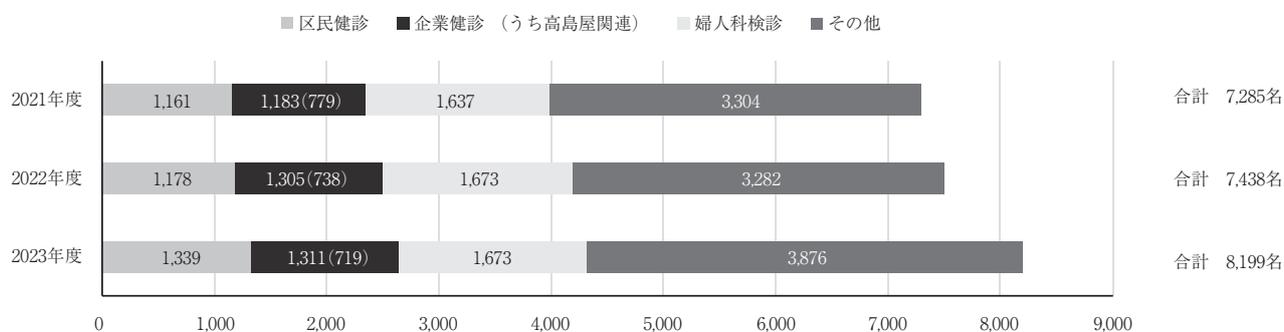
日産厚生会診療所

Ⅱ クリニカルインディケーター

●患者統計



●健診受診者統計



※婦人科検診(乳がん・子宮がん検診)

※その他(人間ドック・扶養者健診・法令健診・予防接種等)

III 業務実績

スタッフ(2024.3現在)

医 員：常 勤 2名	長 晃平(所長／内科)、 川口笛美(眼科医長)	看護師：常 勤 3名	佐々木優子(師長)、 永森優子(主任)、今中智湖
非常勤24名	小澤志朗(名誉所長／内科)、 石田和之(漢方)、坂本芳雄(内科)、 加藤多津子(内科)、 天野由紀(内科)、鈴木瑤子(内科)、 岩本正照(内科)、河崎恒久(内科)、 高木まなみ(眼科)、 高畑史子(乳腺)、原田華子(乳腺)、 稲荷 均(乳腺)、大石陽子(乳腺)、 春山優理恵(乳腺)、 佐藤良治(整形)、大鷹美子(婦人)、 白井玲子(婦人)、河合匡子(皮膚)、 関東裕美(皮膚)、 海老原 椿(皮膚)、 中村京香(皮膚)、鈴木彩香(皮膚)、 奥田莉奈(皮膚)、前田真穂(皮膚)	非常勤 2名	南波ゆかり、浪岡順子
		放射線技師：常 勤 1名	佐伯華淑
		非常勤 2名	花村晴美、田中利則
		生理検査技師：非常勤11名	岸 伸昭、岡田亜希子、 川崎絵里、富樫保行、 前田奈緒子、坂上由美子、 神谷美雪、杉田雅彦、 前田奈緒子、田村弘子、 明和鮎子
		視機能訓練士：非常勤 1名	吉田栄子
		管理栄養士：非常勤 1名	星 正子
		事 務：常 勤 3名	鍵小野 宏(事務長)、 吉井百合(係長)、塩見亜紀
		非常勤 3名	石井恵美、植松香織、松本貴衣

活動状況

1. 総括

玉川クリニックは2023年度4月より「最も丁寧で親切で温かい医療を展開する」を新たな理念に掲げた。また日曜を休診とする代わりに、これまで休診にしていた水曜を診療日としてスタートした。水曜診療は内科、皮膚科(半日※2024年1月より全日)、眼科(半日)の診療体制で臨んだ。健診は、特定健診、長寿健診、ワクチン接種で臨んだ。皮膚科は、長年、玉川病院皮膚科と東邦大学皮膚科で活躍された関東医師に診療をお願いし、水曜診療開始直後から外来を成長させていただいた。眼科においては、新たに高木医師が加わった。内科は、加藤医師のお力を借り、よいチームワークで二診体制に臨んだ。着実に患者数を伸ばし、10月頃には他の診療日と遜色ない成長に達した。また勤務日の変更は職員の負担となったが、皆によく対応していただき、感謝にたえない。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症は、感染症法上、季節性インフルエンザと同等の5類に移行した。発熱外来とコロナワクチンの個別接種は公益活動として継続した。流行は5月以降もゆるやかに増加し第9波(2023年5月から10月)および第10波(2024年1月から3月)を形成

した。また2023年10月から季節性インフルエンザの同時流行を経験した。発熱外来は1,662人(前年度比△22.3%)に実施し、コロナ陽性者599人(陽性率36.0%)、インフルエンザ陽性者254人(陽性率15.3%)であった。ラゲブリオに加え、ゾコーバ、バキロビットの処方を見直しを漸次整備した。コロナワクチンは計493人に実施した。5類移行に伴いコロナ関連の各種特例加算はなくなったが、発熱外来継続の意義は高いと感じた。社会的PCR活動は2023年10月で終了した。

上記活動等により診療日が302日から293日へと9日減少(祝日分)したが、(次頁下記3.)のとおり一般患者数は前年度比16.7%増、健診総数は10.2%増加した。発熱外来は22.3%減であった。

患者紹介(診療情報提供書)は708人、逆紹介は78人であった。緊急の紹介も多く、玉川病院をはじめ応需いただいた近隣医療機関に、この場を借りて深謝したい。新たな24年度は診療報酬改訂の年にあたり、適切に対応していく。また玉川高島屋ショッピングセンターとともにクリニックは開業55周年にあたるので、今後も連携しながら医療活動を充実させたい。

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

2. 医師診療体制

外来表(2023年4月1日より)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
内科	長 天野 小澤(2、4)	長 鈴木 小澤	長 加藤	長 坂本 岩本(AM)	長(1、3、5) 河崎(1、3、5AM) 小澤 森田(2、4AM)	長(1、3、5) 坂本(4) 小澤(2、4AM) 加藤(1、2、3、5AM) 石田(1、3、5PM)	休 診 日
眼科	川口	川口	高木	川口	川口	川口(AM)	
皮膚科		東邦大(PM)	関東	東邦大(PM)			
乳腺科					原田(1、3PM)	大石(3PM) 癌研(1、2、4PM)	
婦人科		白井(PM)			大鷹(1、3PM)		
整形外科	佐藤(PM)			佐藤(PM)			

3. 患者数および収支

対2022年度比の一般診療は16.7%増(23,847/20,437)、健診(ワクチン含)は10.2%増(8,199/7,438)、発熱外来16.3%減(1,662/1,984)。社会的PCR活動が10月で

終了したため、総収益総支出ともに下がったが、収支では1,600万を確保した。

	総数	一般診療(発熱除く)	健診診断	発熱外来
2021年度	30,517人	21,312人	7,285人	1,920人
2022年度	28,705人	20,437人	7,438人	1,984人
2023年度	33,708人	23,847人	8,199人	1,662人

	総収益	総支出	収支
2021年度	301百万円(うち補助金1.6百万円) (うち世田谷PCR活動33百万円)	278百万円(27百万円)	23百万円(6百万円)
2022年度	413百万円(うち補助金14百万円) (うち世田谷PCR活動130百万円)	364百万円(114百万円)	48百万円(17百万円)
2022年度	296百万円(うち補助金2百万円) (うち世田谷PCR活動16百万円)	280百万円(12百万円)	16百万円(4百万円)

4. 産業医としての職務

- 1) 玉川高島屋、東神開発(株)、(株)センチュリーアンドカンパニーの産業医としての業務
 - ① 安全衛生委員会に出席(1回/月)、職場巡視の実施(1回/月)
 - ② 就業意見書作成96件、ストレスチェックの実施および高ストレス者に対する面接指導3件
 - ③ ストレスによるうつ病、適応障害患者、病气療養中患者に対する職場復帰後の支援。
 - ④ 玉川高島屋社員、東神開発(株)社員を対象に行っている健康セミナー講演等はコロナ(9、10波)で中止。

5. 設備面

- 1) 眼科：OCT(Optical Coherence Tomography)の導入(2024年1月)
- 2) 診療、検査予約システム導入(2023年12月より運用開始)
- 3) スタッフルーム改修(2023年5月)

6. 人事面

- 松本貴衣(事務職)：入職(2023年6月)
三ツ木陽子(事務職)：退職(2023年12月)
今中智湖(看護師)：退職(2024年3月)
河崎恒久(非常勤医師)：金曜日AM隔週(2024年1月～)

今後の目標

- ①「最も丁寧で親切で温かい医療を展開する」の理念の定着
- ②水曜日診療の充実、企業健診実施に向けた整備
- ③発熱外来の運用継続、仮設テントの縮小計画
- ④健診の精度向上、成果向上を図る
- ⑤身体組成(筋肉量、脂肪、体脂肪など)をクリニックの新たな健康指標として活用
- ⑥SDGゴール3のNCD(生活習慣病)による死亡率減少に向けた診療の質の向上
- ⑦生活習慣病の患者指導の強化と栄養指導。紙面による説明の充実など
- ⑧婦人科、乳腺の健診体制の向上
- ⑨医学研究所会議に参加。公益的な臨床研究の発展に努める

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所